

1 カルメロース

2 基原及び純度試験の項を次のように改める.

3 本品は部分的にO-カルボキシメチル化したセルロースで
4 ある.

5 純度試験

6 (1) 塩化物 本品0.8 gに水50 mLを加えてよく振り混ぜ
7 た後、水酸化ナトリウム試液10 mLを加えて溶かし、更に水
8 を加えて100 mLとする。この液20 mLに希硝酸10 mLを加
9 え、水浴中で綿状の沈殿が生じるまで加熱し、冷却した後、
10 遠心分離する。上澄液をとり、沈殿を水10 mLずつで3回洗
11 い、毎回遠心分離し、上澄液及び洗液を合わせ、水を加えて
12 100 mLとする。この液25 mLをネスラー管にとり、希硝酸
13 6 mL及び水を加えて50 mLとし、検液とする。別に0.01
14 mol/L塩酸0.40 mLをとり、希硝酸6 mL及び水を加えて50
15 mLとし、比較液とする。検液及び比較液に硝酸銀試液1 mL
16 ずつを加えて混和し、光を避け、5分間放置した後、黒
17 色の背景を用い、ネスラー管の上方又は側方から観察して、
18 混濁を比較する。検液の呈する混濁は、比較液の呈する混濁
19 より濃くない(0.36%以下).

20 (2) 硫酸塩 本品0.40 gに水25 mLを加えてよく振り混ぜ
21 た後、水酸化ナトリウム試液5 mLを加えて溶かし、更に水
22 20 mLを加える。この液に塩酸2.5 mLを加え、水浴中で綿
23 状の沈殿が生じるまで加熱し、冷却した後、遠心分離する。
24 上澄液をとり、沈殿を水10 mLずつで3回洗い、毎回遠心分
25 離し、洗液は上澄液に合わせ、水を加えて100 mLとする。
26 この液をろ過し、初めのろ液5 mLを除き、次のろ液25 mL
27 をネスラー管にとり、希塩酸1 mL及び水を加えて50 mLと
28 し、検液とする。別に0.005 mol/L硫酸1.5 mLをとり、希塩
29 酸1 mL及び水を加えて50 mLとし、比較液とする。検液及
30 び比較液に塩化バリウム試液2 mLずつを加えて混和し、10
31 分間放置した後、黒色の背景を用い、ネスラー管の上方又
32 は側方から観察して、混濁を比較する。検液の呈する白濁は、
33 比較液の呈する白濁より濃くない(0.72%以下).

34 ◆(3) 重金属 (1.07) 本品1.0 gをとり、第2法により操作
35 し、試験を行う。比較液には鉛標準液2.0 mLを加える(20
36 ppm以下). ◆

37